

名取の御湯

なとりのみゆ



秋保温泉は、約千年前に書かれた『大和物語』にも「名取の御湯」として記されています。その名は、磊々峽をはじめとする名取川沿いの風光明媚な景観とともに、京の都でも知られていたものと思われます。

時代は大きく変わりましたが、疲れを癒す湯と、四季折々の自然風景は、変わることはない秋保温泉の魅力であり、自慢でもあります。

歴史深い温泉でゆっくりと体を温め、川の音や鳥のさえずりを感じながら、いにしえより伝わる景勝地をめぐる。

さあ、そんな秋保温泉へ、てくてく出かけてみませんか。

昔は、この地区の子ども達にとって磊々峽は格好の遊び場でした。学校には未だプールが無い時代で、夏休みとなると毎日のように名取川に遊泳に魚捕りに明け暮れ、その舞台は上流の「のぞき橋」から下流は「ホテル華乃湯」付近まで、おおよそ800mに及びます。

当時「のぞき橋」の下は3m位の滝となり、両端渦を巻き深い淵となっていて、昔は「のぞきぶち」といわれておりました。また、「八間巖」の急流、断崖をよじ登ったり、「猪飛岩」や、「お不動さん」(塩滝不動尊付近)の長い深淵など多くの難所があり、これらを泳ぎ切ることが一丁前の泳者として認めもらえるんだ、と、心ひそかに懸命に泳ぎに励み、初めて泳ぎ切ったときは、英雄の仲間入りをした気分になっておりました。

もう数十年の歳月が経ているにもかかわらず、当時の話になりますと、その光景が鮮明に蘇ってくるのは私ばかりではないようです。

磊々峽の近くにお住いの 庄子敏明さん

秋保みづみづ

てくてく磊々峽

いってみっぺ

秋保

てくてく磊々峽

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

磊々峽はもう歩きましたか？

てくてく歩けば見どころいっぱい！

歴史あるもの、面白いもの、みんな秋保の文化です！

掲載されている情報は、平成31年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
二口街道ツアー 62

No.3

磊々峽

らいらいきょう



見下せば藍をたたうる深き淵
鎮魂台を風掠め行く
真二つに天谷巖をつんざきぬ
三万年前のあけぼの
土井 晩翠

磊々峽は、名取川中流に位置し、秋保温泉入口の「視橋」を中心とした東西約2kmの峡谷です。その川幅は、場所によってはわずか2メートル足らずと、名取川の最も狭まった部分にあたります。

かつては「視淵（のぞきぶち）」と呼ばれ、「名取の御湯」を訪れた旅人がつい覗かずにはられない場所、必見の場所でした。

秋保・里センター北側の散策路「磊々峽もみじのこみち」からは、壮大な巖の連続、急流に洗われる奇岩、怪石を間近に眺めることができます。その姿に、現代の旅人たちもまた、思わず目を奪われることでしょう。

磊々峽は、秋保温泉観光のハイライト。ぜひゆっくり歩いて、満喫してください。

1 秋保・里センター



秋保の旅には欠かすことのできない観光情報基地。秋保温泉はもとより二口や馬場など、秋保の見所・拠り所などの情報が満載。レンタサイクルや、レストランもあり、温泉周遊の基点として最適です。
☎ 022-304-9151

1分

2 磊々峡・もみじのこみち

秋保・里センターと磊々峡遊歩道をつなぐ周遊ルート。

磊々峡のなかでも、もみじがたくさんある場所で、秋には見事に色付きます。



青葉区愛子へ

5分

・秋保ワイナリー

出入口

3 古の石碑群

磊々峡に架かる視橋は、昔から人々の生活の基点であり、大切な祈りの場所でもありました。元は視橋のたもとにありましたが、橋の架替えに伴い移設されたもので、今なお地域の方々が祈りを捧げている大切な石碑です。



3分

4 視橋(臨潭橋)

2014年、恋人の聖地に認定された「視橋♡ハート」。記念写真のスポットとしておすすめです。

橋の両側の高欄には、秋保を代表する民俗芸能の秋保の田植踊と野口の鹿踊がデザインされています。ちょっとのぞいてみてください。

3分



5 磊々峡公園

磊々峡もみじのこみちの対岸に、2016年にできた公園です。舗装された通路で、ベンチもあり、磊々峡をのんびり眺めながら散策されたい方におすすめです。



5分

6 秋保ワイナリー

2015年にオープンしたワイナリーです。敷地内にはブドウ畑が広がり、温泉街を望むことができる高台にあります。醸造所や売店、試飲コーナーなどがあります。 ☎ 022-226-7475



10分

7 旧秋保電鉄駅舎

秋保電鉄は長町～秋保温泉間を昭和36年まで48年の長きにわたり走り続け、温泉客や、秋保石の運搬のみならず、地域住民の足としても活躍しました。

現在、旧秋保電鉄の跡地の一角には、縁あって仙台市電の車両が展示されています。

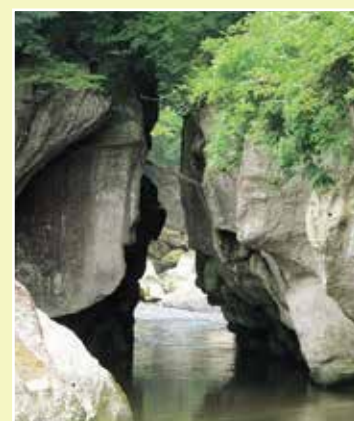


1分

8 磊々峡

名取川の流れがひととき狭くなる峡谷で「らいらいきょう」と読みます。視橋を挟んで上下約2kmにわたり、まさにこの字のように石や岩が重なっています。いにしえより「名取の御湯」の近傍にある雄大な奇勝地であると記され、特徴ある景観を見せてくれます。

昭和6年(1931年)文人小宮豊隆により石が重なる様子を表し「磊々峡」と命名され、秋保温泉の景勝地として、内外に紹介されたことにより、その景観美が注目されるようになりました。「奇面巖」「八間巖」「時雨滝」「三筋滝」「鳴合底」「猪飛巖」「天斧巖」「不動淵」などの名所があり、春の新緑、初夏の緑樹、秋の紅葉、そして冬季の雪景色と四季折々に、溪谷の風景が楽しめます。



10 アキウ舎(旧除屋敷)



のぞきやしき

旧家の建物で、約150年前の素封家の生活様式や、いにしえの匠の技を見ることができる貴重な建物です。この古民家を再生して「アキウ舎」が2018年夏にオープン。交流拠点を兼ねた地元の野菜が味わえるカフェレストランとなっています。
☎ 022-724-7767

15分

9 洞窟堂塩滝不動尊

秋保石採掘場の山裾にあり、「いわやどう」と称されます。円仁が山寺立石寺を開山する前に精舎を開き、仏法を広めようとしたと伝えられています。

地元の人々が大事に祀っており、毎年4月末に祭事が行われます。私有地のため許可なく立ち入りは出来ません。

ガイド無しで中には入れません...



15分

出入口

不動淵

ホテル瑞鳳

新秋保橋